報道資料

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和２年 11 月 11 日
消　　防　　庁

第５回予防業務優良事例表彰の事例募集

消防庁では、各消防本部の予防業務の取組のうち他団体の模範となる優れたものについて表彰し、予防部門のモチベーション向上を図るとともに、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し、各消防本部の業務改善に資することを目的として、第５回予防業務優良事例表彰を行います。
本日から令和３年１月 15 日（金）までの間、各消防本部の優れた取組事例を募集いたします。

【募集対象】
令和２年１月１日（水）から令和２年 12 月 31 日（木）までの間に各消防本部で力を入れた予防業務（危険物に関する業務も含む。以下同じ。）の取組を中心に、他団体の模範となる優れた事例を幅広く募集します。

【募集内容】
各消防本部の応募の参考のため、募集対象として下記の事例の区分を設けています。
Ⅰ　予防業務の実効性向上に関する取組
Ⅱ　予防業務の高度化・専門化に関する取組
Ⅲ　予防業務の効率化に資する取組
Ⅳ　予防業務に係る他団体との連携に関する取組
Ⅴ　予防業務に係る人材育成に資する取組
Ⅵ　予防業務に係る広報活動に関する取組
Ⅶ　予防業務のデジタル化に関する取組
Ⅷ　その他予防業務の改善に資する取組

【募集期間】
令和２年 11 月 11 日（水）～令和３年１月 15 日（金）
なお、募集の詳細につきましては、別添の実施要綱及び募集要項をご参照ください。

【表彰】
表彰団体には、令和３年５月 27 日（木）（予定）に行う表彰式において、消防庁長官より表彰状及び記念品を授与する予定です。また、表彰事例については、表彰式の場や消防庁ホームページへの掲載等を通じて広く全国に紹介する予定です。

（事務連絡先）
消防庁予防課　坂場主幹、鈴木
TEL　03-5253-7523（直通）
FAX　03-5253-7533

第５回予防業務優良事例表彰　実施要綱

１　目的

消防庁長官が、各消防本部（複数の消防本部が共同して取組を実施する場合を含む。以下同じ。）の予防業務（危険物に関する業務も含む。以下同じ。）の取組のうち他団体の模範となる優れたものについて当該消防本部を表彰し、予防部門のモチベーション向上を図るとともに、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し、消防本部の業務改善に資することを目的とする。

２　対象者

予防業務の取組のうち他団体の模範となる優れたものを行っている消防本部を対象とする。

３　対象事例

令和２年１月１日（水）から令和２年 12 月 31 日（木）までの間に各消防本部で力を入れた予防業務の取組を中心に、他団体の模範となる優れた事例を対象とする（募集要項を参照のこと）。

４　概要

⑴　表彰の種類については、「消防庁長官賞」及び「優秀賞」の２つとする。
⑵　表彰団体には表彰状及び記念品を授与する。
⑶　表彰式は、令和３年５月 27 日（木）を予定。

５　審査方法

⑴　一次審査
応募事例の中から、予防業務優良事例表彰事務局において、二次審査に推薦する事例を選定する。
⑵　二次審査
⑴で選定された事例の中から、有識者等による選考を経て、表彰事例を決定する。

６　応募方法

別途、募集要項に定めるものとする。

７　事務局

事務局は消防庁予防課に設置するものとする。

第５回予防業務優良事例表彰　募集要項

１　目的

消防庁長官が、各消防本部（複数の消防本部が共同して取組を実施する場合を含む。以下同じ。）の予防業務（危険物に関する業務も含む。以下同じ。）の取組のうち他団体の模範となる優れたものについて当該消防本部を表彰し、予防部門のモチベーション向上を図るとともに、広く全国に紹介することにより、予防行政の意義や重要性を広く周知し、各消防本部の業務改善に資することを目的とする。

２　表彰の対象者

予防業務の取組のうち他団体の模範となる優れたものを行っている消防本部を対象とする。

３　募集内容

令和２年１月１日（水）から令和２年 12 月 31 日（木）までの間に各消防本部で力を入れた予防業務の取組を中心に、他団体の模範となる優れた事例について募集する。各消防本部の応募の参考のため、募集対象として下記の事例の区分を設けているが、他団体の模範となる優れた事例（新型コロナウイルス感染症への対応のため創意工夫した事例を含む。）であれば幅広く募集対象に該当することに留意されたい。

なお、第１回から第４回の予防業務優良事例表彰において受賞した事例についても、取組の継続により内容のさらなる向上が図られている場合は、応募可能とする。

Ⅰ　予防業務の実効性向上に関する取組

取組事例（例）

○防火対象物への夜間一斉査察

○給油取扱所への夜間の抜き打ち検査

Ⅱ　予防業務の高度化・専門化に関する取組

取組事例（例）

○予防業務の高度化・専門化に対応するため創設された消防本部独自の資格制度

○火災原因調査における調査技術の高度化

Ⅲ　予防業務の効率化に資する取組

取組事例（例）

○査察規程の改正による査察業務の見える化

Ⅳ　予防業務に係る他団体との連携に関する取組

取組事例（例）

○消防団などと連携した住宅用防災機器等の設置・維持促進活動

○自衛消防組織との連携による防火活動

Ⅴ　予防業務に係る人材育成に資する取組

取組事例（例）

○講演、研修会、市民出前講座等の開催
○本部職員による署巡回研修

Ⅵ　予防業務に係る広報活動に関する取組

取組事例（例）

○メディアとのタイアップやイベントの開催を通じた予防啓発活動
○ＨＰやスマホアプリ等の充実による市民への情報提供

Ⅶ　予防業務のデジタル化※に関する取組　　※AI・RPA・IoT 技術の活用、ICT 機器の活用など

取組事例（例）

○官学連携による消火器・誘導標識点検アプリの開発

Ⅸ　その他予防業務の改善に資する取組

取組事例（例）

○管内事業所で発生する可能性の高い災害情報の共有
○再任用職員を活用した、予防業務への取組

４　応募手続

⑴　応募方法

㈠　消防本部は、「３　募集内容」に定める要件に合致する事例について十分に検討の上、⑵の提出書類により都道府県消防防災主管部に提出すること。

なお、１消防本部あたり１事例までの応募とすること。

㈡　都道府県消防防災主管部は、管内の消防本部の事例をとりまとめの上、消防庁予防課に提出すること。

⑵　提出書類

㈠　応募に必要な書類は別添の調査票（Ａ４サイズ３枚以内）とし、必要に応じて、調査票内に図表や写真等を添付すること。

㈡　調査票の記載内容についての理解を容易にするため、必要に応じて参考資料（様式自由）により補足説明を行うことは差し支えない。ただし、選考に当たっては、調査票に記載された内容により審査を行うこととしているので、留意すること。

⑶　提出方法

提出は原則として電子メールによるが、容量制限等のため電子メールによる提出ができない場合には、ＣＤ－Ｒ等のメディアに保存の上、郵送にて提出すること。

⑷　応募締切

消防庁への提出：令和３年１月 15 日（金）必着

５　留意事項

⑴　選考の結果、優良事例として表彰の対象となった事例については、表彰式の場や事例集の作成・消防庁ホームページへの掲載等を通じて広く全国に紹介する予定であるため、調査票は漏れのないように記入するとともに、記載内容を充実させること。

また、事例集の作成に当たっては、原則として提出された調査票の内容を事例集に

転載する予定としているため、調査票の記載内容には十分留意すること。

⑵　提出された調査票及び添付資料は、理由の如何を問わず返却しないため、必要に応じて控えを残すようにすること。

６　提出及び問い合わせ先

消防庁予防課行政係
〒100-8927
東京都千代田区霞が関 2-1-2
TEL：03-5253-7523　FAX：03-5253-7533
E-mail：yobo@soumu.go.jp

第５回予防業務優良事例表彰　調査票記入要領

１　連絡先

⑴　「消防本部名」欄は、実施消防本部の名称を記入してください。なお、複数の消防本部が共同して取組を実施する事例の場合は、代表となる消防本部の名称を記載してください。

⑵ 複数の消防本部が共同して取組を実施する事例の場合、「共同実施の本部名」欄に代表となる消防本部以外の消防本部の名称を記載してください。

⑶　「連絡先」欄は、実施消防本部の担当者の所属部署、氏名、電子メールアドレス、電話番号、ＦＡＸ番号及び住所（郵便番号含む。）をそれぞれ記入してください。なお、複数の消防本部が共同して取組を実施する事例の場合は、代表となる消防本部の担当者について記載してください。

２　取組事例

⑴　「事例名称」欄は、応募事例の名称を記入してください。

⑵　「事例類型」欄は、応募事例の内容に応じて以下に掲げるⅠからⅧまでのいずれかを選択してください（複数の区分に同時に該当する場合は複数選択も可）。

Ⅰ　予防業務の実効性向上に関する取組
Ⅱ　予防業務の高度化・専門化に関する取組
Ⅲ　予防業務の効率化に資する取組
Ⅳ　予防業務に係る他団体との連携に関する取組
Ⅴ　予防業務に係る人材育成に資する取組
Ⅵ　予防業務に係る広報活動に関する取組
Ⅶ　予防業務のデジタル化に関する取組
Ⅷ　その他予防業務の改善に資する取組

⑶　「取組期間」欄は、応募事例に取り組み始めた年月（和暦）を記入してください。

３　事例の概要

⑴　「背景」、「内容」及び「成果」欄は、次の①～③に留意しながら記載してください。

①　背景
事例の取組に至ったきっかけや課題等を、経緯・地域特性等を踏まえつつ記載してください。

②　内容
上記背景等を踏まえ実施した取組事例の内容について、具体的に記載してください。

③　成果
事例の取組を行った結果、どのような成果が生まれたかについて、具体的に記載してください。

⑵　「特記事項」欄は、事例の実施において苦労した点、当該事例の特筆すべき点、将来の展望その他特記事項について記入してください。

４　その他

各記入欄においてスペースが不足する場合は、適宜、欄を調整してください（Ａ４サイズ３枚以内）。

第５回予防業務優良事例表彰　調査票

【　　都・道・府・県】

１．連絡先

消防本部名	ふりがな：	
	名称：	
共同実施の本部名	ふりがな：	
	名称：	
	ふりがな：	
	名称：	
連　絡　先	担当者部署： 氏名（ふりがな）：	メール：
	電話：	FAX：
	住所：〒	

２．取組事例

事例名称	
事例類型	Ⅰ実効性向上　Ⅱ高度化・専門化　Ⅲ効率化　Ⅳ他団体との連携 Ⅴ人材育成　Ⅵ広報活動　Ⅶデジタル化　Ⅷその他
取組期間	平成・令和　　年　　月から

３．事例の概要

背　　景
●

内　　容
●
成　　果
●
特記事項
●

（留意点）

1　記入スペースが不足する場合、適宜、欄を調整してください（Ａ４サイズ３枚以内・フォントサイズは 11pt とすること）。

2　複数の消防本部が共同して取組を実施する事例の場合、「消防本部名」欄に代表となる消防本部を記載し、「共同実施の本部名」欄にその他の消防本部を記載してください。なお、この場合「連絡先」欄は代表となる消防本部の担当者を記載してください。

3　「事例類型」欄は、募集要項の「３　募集内容」の区分に従い、「○」を付してください。なお、複数の区分に同時に該当することもありますが、その場合は当該複数の区分に「○」を付してください。

4　記入に当たっては、調査票記入要領を御参照ください。

5　調査票の情報を、表彰式の場や消防庁ホームページへの掲載等を通じて広く全国に紹介することがあります。

第５回予防業務優良事例表彰　調査票

【　　都・道・府・県】

１．連絡先

消防本部名	ふりがな：まるまるししょうぼうほんぶ	
	名称：○○市消防本部	
共同実施の本部名	ふりがな：	
	名称：	
	ふりがな：	
	名称：	
連　絡　先	担当者部署：予防課 氏名（ふりがな）：消防（しょうぼう）　太郎（たろう）	メール ○○○@××.△△.jp
	電話：○○－××××－△△△△	FAX：●●－××××－▲▲▲▲
	住所：〒○○○－×××× ○○県□□市△△	

２．取組事例

事例名称	予防業務の高度化・専門化に対応するため創設された消防本部独自の資格制度
事例類型	Ⅰ実効性向上　Ⅱ高度化・専門化　Ⅲ効率化　Ⅳ他団体との連携 Ⅴ人材育成　Ⅵ広報活動　Ⅶデジタル化　Ⅷその他
取組期間	平成・令和　２年　４月から

３．事例の概要

背　　景

●　当消防本部では、予防部門の職員を中心に予防技術検定の受検を推奨し、専門的知識を習得させるよう努めてきたが、近年技術革新等により防火対象物に設置される消防用設備等も多様化し、立入検査等をはじめとする予防業務が高度化・専門化するにつれ、管轄区域内の防火対象物の特徴等に応じたより専門的な知識を職員が身につける必要が生じている。

内　　容
●　当消防本部の独自の取組として、予防技術検定に加え「予防マスター試験」制度を設けており、予防部門の職員に受検を義務付けている。難易度に応じて３段階の試験区分を設けており、合格者には昇任試験の一部科目免除、人事考課での評価への反映等を行っている。「予防マスター試験」制度では、当消防本部の管轄区域の特徴として雑居ビルが多いことから、複合用途防火対象物に特化する形で法令、査察実務等当消防本部での業務に必要とされる知識を幅広く出題している。
成　　果
●　予防職員へのアンケートの結果、本制度の導入をきっかけに人事考課で考慮される要素が抜本的に見直されるなどにより、モチベーションアップにつながるとの意見が〇〇％と多くの職員から支持されている。また複合用途防火対象物に特化した試験範囲を設定していることや、実際に実務で生じた事例を素材に問題を作成しているため、受検を通じて実務に必要な知識やスキルを習得できるという点で大きな成果があった。
特記事項
●　予防技術検定についても、「予防マスター」制度と比べて予防業務に関連する知識をより幅広く習得できるという点で効果的であるため、引き続き予防職員に受検を推奨するとともに、効果的な活用方法について今後検討していく。

（留意点）

１　記入スペースが不足する場合、適宜、欄を調整してください（Ａ４サイズ３枚以内・フォントサイズは 11pt とすること）。

２　複数の消防本部が共同して取組を実施する事例の場合、「消防本部名」欄に代表となる消防本部を記載し、「共同実施の本部名」欄にその他の消防本部を記載してください。なお、この場合「連絡先」欄は代表となる消防本部の担当者を記載してください。

３　「事例類型」欄は、募集要項の「３　募集内容」の区分に従い、「〇」を付してください。なお、複数の区分に同時に該当することもありますが、その場合は当該複数の区分に「〇」を付してください。

４　記入に当たっては、調査票記入要領を御参照ください。

５　調査票の情報を、表彰式の場や消防庁ホームページへの掲載等を通じて広く全国に紹介することがあります。